

函館市監査公表第13号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項および第4項の規定に基づき，企業局を対象として，定期監査を実施したので，その結果を同条第9項の規定により，別紙のとおり公表する。

なお，この監査については，渡辺宏身監査委員，植松直監査委員，福島恭二前監査委員および佐古一夫前監査委員が監査を行ったものである。

平成25年5月31日

函館市監査委員 渡 辺 宏 身

函館市監査委員 植 松 直

函館市監査委員 北 原 善 通

函館市監査委員 茂 木 修

## 平成24年度 定期監査結果報告書（企業局）

### 1 監査の対象部局

企業局

### 2 監査の対象

財務監査

平成24年4月1日から平成24年10月31日までに執行された収入事務，支出事務，契約事務およびこれらに関連する事務

### 3 監査の期間

平成25年1月11日から平成25年4月25日まで

### 4 監査の方法

今回の監査は，上記の事務を対象として調査事項を定め，関係法令等および予算に基づき，適正に執行されているかについて実施し，監査にあたっては，抽出により諸帳簿等の関係書類について検査を行うとともに関係職員から説明を聴取した。

### 5 監査の結果

本件定期監査の結果は，以下のとおりである。

#### （1）全般的事項

##### ア 予算の執行について

予算の執行においては，収入・支出予算の執行状況を予算執行計画整理簿，総勘定元帳等の関係書類をもとに検査した結果，適正に執行されていた。

なお，温泉事業については，函館市営谷地頭温泉施設の売却により，運転資金に残額が生じているが，今後は，温泉供給事業のみとなることから，経費の節減を図ることはもとより，温泉資源の保全に努め，安定した供給体制を確立し，効率的な事業の運営に努める必要があると思料される。

また，交通事業については，経営計画と比較すると，当年度運転資金は経営計画を上回り，当年度末運転資金残額（不良債務）は改善される見通しとなっている。

しかしながら、軌道沿線における人口の減等により乗車人員の減少が続き、その事業経営は、依然として厳しい状況にあることから、今後においても、引き続き、経営計画を着実に実行し、事業経営の健全化に取り組まれるよう要望する。

イ 現金取扱事務について

現金取扱事務においては、金銭出納簿等の関係書類をもとに検査した結果、適正に処理されていた。

ウ 庶務的事務について

庶務的事務においては、出勤簿、休暇承認簿、時間外勤務命令簿等の関係書類をもとに検査した結果、適正に処理されていた。

(2) 個別的事項

ア 支出事務について

支出事務においては、車両検査整備業務費を対象とし、支出負担行為から支払に至るまでの執行状況を支出負担行為伺書等の関係書類をもとに検査した結果、適正に執行されていた。

イ 契約事務について

契約事務においては、函館市水道局収納および滞納整理業務委託契約を対象とし、契約から支払に至るまでの執行状況を契約書、支出負担行為伺書等の関係書類をもとに検査した結果、適正に執行されていた。